

効果②

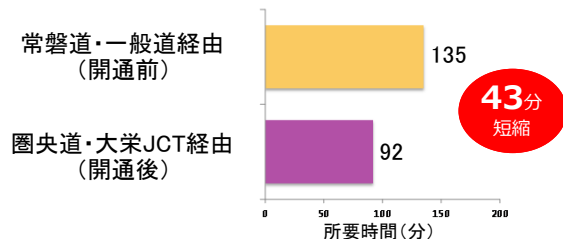
地域経済の好循環 ～新たな広域ネットワークの形成～

- 次々とつながる圏央道により、北関東方面と成田国際空港を結ぶ新たな広域ルートが形成されます。
- 平成27年4月に日本遺産登録された「旧弘道館(水戸市)」、^{きゅうこうどうかん}「足利学校跡(足利市)」^{あしかががっこうあと}をはじめ、成田国際空港から主要観光地への移動時間が短縮し、訪問回数の増加などによる地域経済の活性化が期待されます。

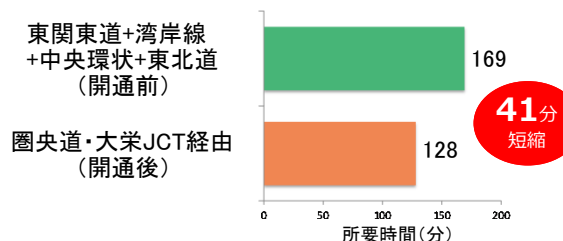
旧弘道館(水戸市)と足利学校跡(足利市)は、《近世日本の教育遺産群―学ぶ心・礼節の本源―》として、平成27年度「日本遺産」に認定



【成田国際空港と茨城・水戸方面間の所要時間の比較】



【成田国際空港と栃木・足利方面間の所要時間の比較】



出典) 平成22年道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出
神崎IC～大栄JCT及び境古河IC～つくば中央ICは未開通区間のため、規制速度(70km/h)で算出

【成田国際空港へ発着する高速バス事業者の声】



- ・神崎ICから大栄JCT間の開通に合わせ、**宇都宮から成田空港への路線は、圏央道経由ルートへの変更**を考えています。
- ・圏央道経由ルートへの変更により、**成田空港への所要時間が短縮するようであれば、停留所の新設を検討し、更なる誘客を図りたい**と考えています。

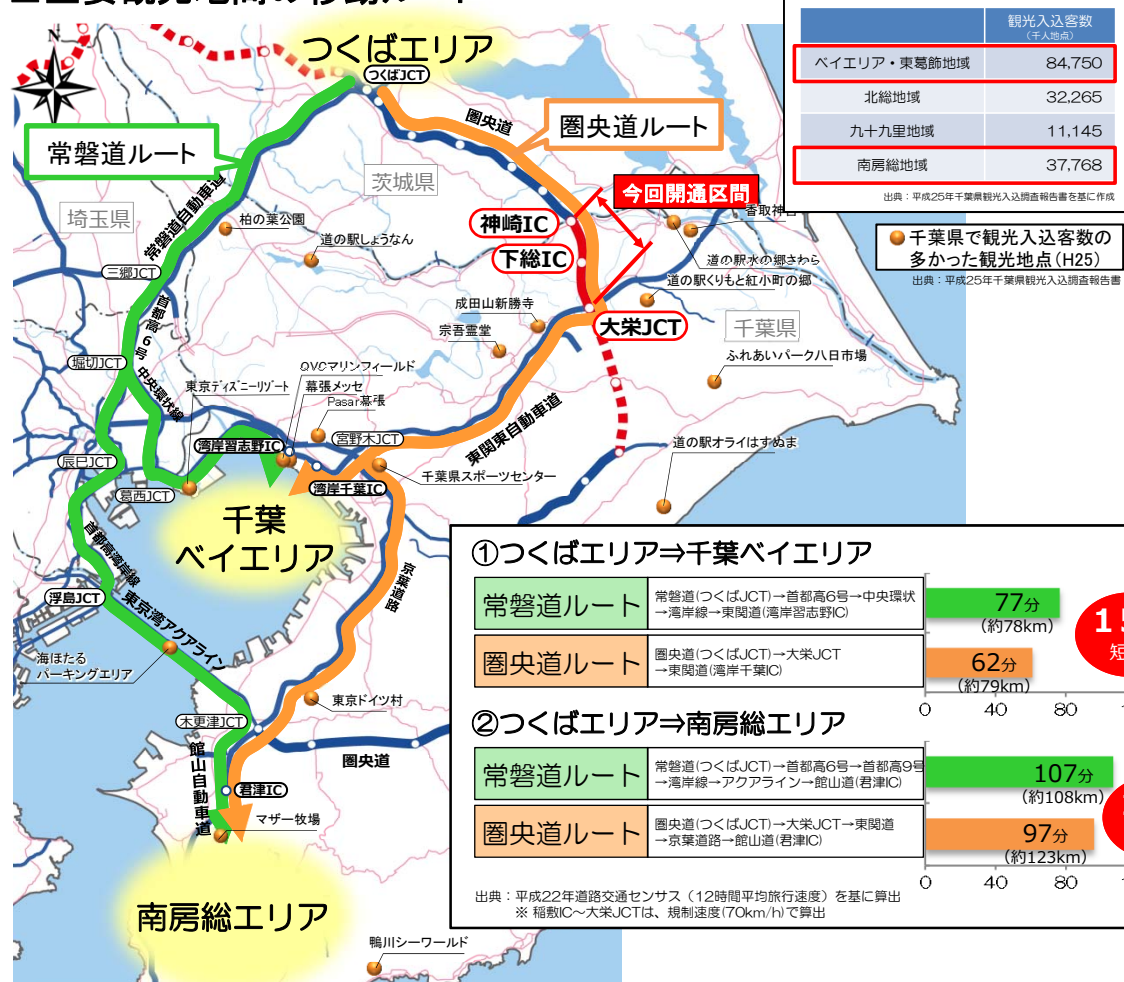
出典) 平成27年3月 事業者アンケート調査(常総国道事務所調べ)

効果②

地域経済の好循環 ～観光交流の促進～

○圏央道(神崎IC^{こうざき}～大栄JCT^{たいえい}間)の開通により、「つくばエリア～千葉ベイエリア～南房総エリア」など人気の観光・レジャー施設間の移動ルートの選択性が広がり、新たな観光需要の喚起が期待されます。

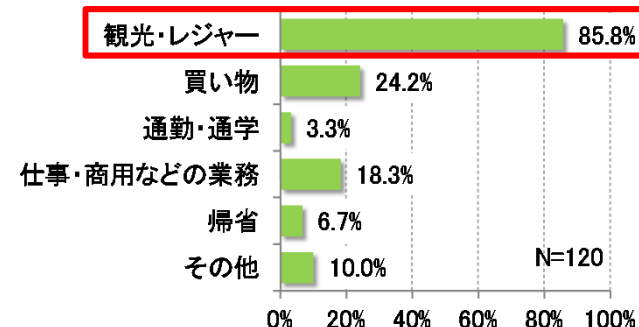
■主要観光地間の移動ルート



■ 圏央道等の沿線にお住まいの方の声

■ 神崎IC～大栄JCT開通後、どのような目的で圏央道を利用する機会が増えそうか？

・「観光・レジャー」目的で圏央道を利用する機会が増えそうとの回答が多数(85.8%)



■ご意見(想定される利用、メリット等)

- ・首都高の混雑が予想される時は、迂回して東京ディズニーランドへ行ける。
(茨城県石岡市 40代 男性)
- ・成田空港への移動が便利になる。
(茨城県つくば市 30代 女性)
- ・房総半島方面への旅行の機会が増えそう。
(茨城県阿見町 40代 男性)
- ・阿見のアウトレットへ行きやすくなる。
(千葉県旭町 40代 男性)

出典：平成26年11月28日(金)～12月2日(火) Webアンケート調査結果